

◆ 【高温蒸気吸着測定】

吸着材はガス分離や回収など幅広く使用されており、その選定や性能評価において、吸着材の吸脱着特性を知ることが重要となります。

以下にシリカゲル(2種類)、活性炭(1種類)の水蒸気吸着等温線を示します。データ比較すると、シリカゲルのほうが低相対圧からの吸着量の増加がみられ、また、シリカゲルはそのタイプによって吸着量の増加する相対圧が異なることが判ります。

更に、吸着温度を変えて測定すると、活性炭では吸着量の違いはほとんどみられないのに対して、シリカゲルでは吸着温度 10℃と70℃で違いがみられます。

このように、試料性状や吸着温度の違いによって測定結果に違いが生じるため、実際の使用環境に近い条件で測定することが重要で、当社では最大70℃ ($P/P_0 \sim 0.95$) の高温蒸気吸着測定が可能です。

